

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 音通
 コード番号 7647 URL <http://www.ontsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 岡村 邦彦

(氏名) 仲川 進

TEL 06-6368-9100

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	5,260	△24.9	89	34.6	54	21.7	8	△77.9
21年3月期第1四半期	7,005	—	66	—	44	—	40	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	0.05	0.05
21年3月期第1四半期	0.22	0.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	12,717	3,579	27.1	18.66
21年3月期	12,276	3,593	28.3	18.82

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 3,451百万円 21年3月期 3,479百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.23	—	0.23	0.46
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.23	—	0.23	0.46

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	10,821	△12.4	135	△5.6	79	△16.0	47	△66.7	0.25
通期	21,573	△5.6	325	0.3	216	3.3	129	△11.0	0.70

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔注〕 詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 185,725,445株 | 21年3月期 | 185,649,845株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 768,103株 | 21年3月期 | 761,903株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 184,891,871株 | 21年3月期第1四半期 | 178,949,663株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、製造業を中心に持ち直しの動きが見られますが、自律的回復という側面は見られず、在庫調整の一巡、景気刺激策という一時的な景気の押し上げ効果はあったものの内外経済の先行きは依然として不透明感があり、国内経済は、大幅な需要不足による低価格競争が広がり、同業他社との競争激化がさらに進み、厳しい経営環境が続いております。

こうした環境の中、当社グループにおきましては、消費者のニーズを追求し、低価格商品の開発や商品内容の充実、タイムリーに商品が提供できるよう、グループの経営基盤の強化を進めてまいりましたが、依然として、同業他社との競争激化、原材料価格の上昇、消費者の買控え等で非常に厳しい状況が続いております。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①食料品・生活雑貨小売事業

当事業部門は、食料品・雑貨を中心とした総合100円ショップ「FLET'S」を直営店舗37店舗、FC店舗4店舗、「百圓領事館」を直営店舗25店舗、FC店舗3店舗、食品スーパー「Fマーケット」を直営店舗12店舗の合計81店舗を運営しております。

当四半期連結会計期間での新規店舗は、「百圓領事館」の府中若松店（東京都）をオープンいたしました。

売上高は43億6千3百万円（前年同四半期比2.5%減）、営業利益78百万円（前年同四半期比110.7%増）となりました。

②カラオケ関係事業

当事業部門は、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸、卸販売事業を中核事業として運営しておりますが、ナイト市場における厳しい状況が続いているものの、M&Aによる機器管理台数の増加及び卸販売事業における液晶TV等の周辺商材の宿泊施設への販売やレンタルの販路拡大、不動産業者、ビル管理業者に対する営業強化を図り好調に推移しております。一方、業務用ゲーム機器賃貸等事業のロケーション撤退や同業他社との競争激化の影響を受け、当事業部門の売上高は6億9千9百万円（前年同四半期比14.1%減）、営業利益1千7百万円（前年同四半期比76.6%減）となりました。

③スポーツ事業

当事業部門は、スポーツクラブ「JOYFIT」を3店舗、ホットヨガ「LAVA」を1店舗を運営しております。売上高は1億7百万円（前年同四半期比5.8%減）、当第1四半期は、新規出店がなく、また、自社スタッフの教育やレベルの向上で外注比率等の抑制を図り、費用負担は減少し、営業損失8百万円（前年同四半期比71.2%減）となりました。

④その他事業

当事業部門は、賃貸店舗や賃貸住宅の家賃収入、コインパーキング16ヶ所の売上により、売上高は2億1千2百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益3千2百万円（前年同四半期比58.0%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は52億6千万円（前年同四半期比24.9%減）となりましたが、前年同四半期には、平成20年7月5日付けでオーディオ・ビジュアル部門の(株)ハブ・ア・グッドを譲渡したため、当第1四半期において該当事業はなく、営業利益8千9百万円（前年同四半期比34.6%増）、経常利益5千4百万円（前年同四半期比21.7%増）、四半期純利益8百万円（前年同四半期比77.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.0%増加し、41億7千1百万円となりました。これは、現金及び預金が4億8百万円、商品が1億1千1百万円増加し、受取手形及び売掛金が1千8百万円、未収消費税が2千9百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、85億5百万円となりました。これは、差入保証金が3千1百万円増加し、のれんが4千4百万円、建設協力金が2千万円、長期貸付金が9百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.6%増加し、127億1千7百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.9%増加し、54億4千万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1億6千万円、短期借入金が4億5千4百万円、1年内償還予定の社債が5千3百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が1億3千6百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、36億9千7百万円となりました。これは、社債が1億4千6百万円増加し、長期借入金が2億4千1百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.2%増加し、91億3千8百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、35億7千9百万円となりました。これは、少数株主持分が1千3百万円、その他有価証券評価差額金が4百万円、新株予約権が1百万円増加し、利益剰余金が3千3百万円減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、13億8千9百万円となり、前連結会計年度末と比べて37.8%の増加となりました。

当四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は2億2千4百万円(前年同四半期比48.4%増)となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益4千9百万円、減価償却費1億2千2百万円、のれん償却額4千4百万円、売上債権の減少額1千8百万円、仕入債務の増加額1億6千万円等であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額1億1千1百万円、法人税等の支払額9千7百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は5千7百万円(前年同四半期は1千5百万円の収入)となりました。主なプラス要因は、定期預金の払戻による収入1千3百万円、長期貸付金の回収による収入1千万円、建設協力金の回収による収入1千9百万円等であり、主なマイナス要因は、定期預金の預入による支出4千1百万円、有形固定資産の取得による支出5千6百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は2億1千4百万円(前年同四半期は1億1千9百万円の支出)となりました。主なプラス要因は、短期借入れによる収入9億5千万円、社債の発行による収入1億9千4百万円等であり、主なマイナス要因は、短期借入金の返済による支出4億9千5百万円、長期借入金の返済による支出3億7千6百万円、割賦債務の返済による支出1千3百万円、配当金の支払額4千2百万円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理

- ①一般債権の貸倒見積高の算定につきましては、当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を適用しております。
- ②繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを適用しております。
- ③棚卸資産の簿価切下げにつきましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,750,223	1,341,776
受取手形及び売掛金	451,379	469,460
商品	1,479,722	1,368,576
前払費用	206,908	190,023
繰延税金資産	6,691	14,168
その他	280,703	311,915
貸倒引当金	△4,188	△4,692
流動資産合計	4,171,440	3,691,229
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産(純額)	1,118,205	1,097,131
建物及び構築物(純額)	2,121,960	2,132,755
土地	875,089	875,089
その他(純額)	243,953	256,782
有形固定資産合計	4,359,209	4,361,759
無形固定資産		
のれん	700,296	744,975
その他	22,987	24,630
無形固定資産合計	723,283	769,605
投資その他の資産		
投資有価証券	150,645	145,661
建設協力金	985,963	1,006,346
差入保証金	1,701,398	1,669,906
繰延税金資産	191,422	189,123
その他	422,639	434,985
貸倒引当金	△29,327	△29,327
投資その他の資産合計	3,422,741	3,416,696
固定資産合計	8,505,234	8,548,060
繰延資産	41,290	37,674
資産合計	12,717,964	12,276,965

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,962,350	1,801,890
短期借入金	1,152,558	698,287
1年内返済予定の長期借入金	1,554,579	1,691,005
1年内償還予定の社債	297,400	244,000
未払法人税等	39,584	102,609
繰延税金負債	—	1,234
その他	434,322	368,073
流動負債合計	5,440,795	4,907,100
固定負債		
社債	1,640,600	1,494,000
長期借入金	1,694,899	1,936,717
退職給付引当金	23,756	22,810
その他	338,488	322,695
固定負債合計	3,697,743	3,776,223
負債合計	9,138,539	8,683,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,455,922	1,455,544
資本剰余金	1,498,229	1,497,851
利益剰余金	568,269	601,909
自己株式	△37,362	△37,233
株主資本合計	3,485,058	3,518,071
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△33,494	△38,239
評価・換算差額等合計	△33,494	△38,239
新株予約権	11,346	10,294
少数株主持分	116,515	103,514
純資産合計	3,579,425	3,593,640
負債純資産合計	12,717,964	12,276,965

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	7,005,587	5,260,632
売上原価	5,318,176	3,835,473
売上総利益	1,687,410	1,425,158
販売費及び一般管理費	1,621,156	1,335,958
営業利益	66,254	89,199
営業外収益		
受取利息	10,279	7,814
その他	7,101	4,905
営業外収益合計	17,381	12,720
営業外費用		
支払利息	34,099	29,157
持分法による投資損失	1,292	2,738
その他	3,807	15,944
営業外費用合計	39,199	47,840
経常利益	44,436	54,078
特別損失		
固定資産売却損	5,584	—
店舗閉鎖損失	5,325	4,446
特別損失合計	10,910	4,446
税金等調整前四半期純利益	33,525	49,632
法人税、住民税及び事業税	18,939	27,007
過年度法人税等戻入額	△19,283	—
過年度法人税等	—	5,991
法人税等調整額	△4,407	966
法人税等合計	△4,751	33,965
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,896	6,782
四半期純利益	40,173	8,884

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,525	49,632
減価償却費	117,471	122,529
のれん償却額	53,660	44,678
株式交付費償却	82	527
社債発行費償却	—	1,991
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,306	△503
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,515	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,428	945
受取利息及び受取配当金	△10,975	△8,498
支払利息	34,099	29,157
持分法による投資損益(△は益)	1,292	2,738
有形固定資産売却損益(△は益)	5,584	—
売上債権の増減額(△は増加)	191,341	18,081
たな卸資産の増減額(△は増加)	△123,602	△111,991
仕入債務の増減額(△は減少)	△45,441	160,459
店舗閉鎖損失	—	4,446
その他の資産・負債の増減額	△6,650	15,952
小計	269,638	330,145
利息及び配当金の受取額	10,975	8,321
利息の支払額	△25,610	△16,326
法人税等の支払額	△103,844	△97,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	151,158	224,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	13,522
定期預金の預入による支出	△9,075	△41,044
有形固定資産の取得による支出	△80,367	△56,829
有形固定資産の売却による収入	40,965	3,386
短期貸付金の回収による収入	1,219	613
長期貸付けによる支出	△900	△900
長期貸付金の回収による収入	9,834	10,391
建設協力金の回収による収入	20,537	19,852
差入保証金の差入による支出	△27,234	△8,008
差入保証金の回収による収入	68,124	900
預り保証金の受入による収入	—	1,989
預り保証金の返還による支出	—	△1,526
その他	△7,296	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,807	△57,652

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	697,000	950,000
短期借入金の返済による支出	△563,351	△495,729
長期借入れによる収入	45,000	—
長期借入金の返済による支出	△373,804	△376,494
社債の発行による収入	—	194,431
社債の償還による支出	△20,000	—
割賦債務の返済による支出	△14,780	△13,971
リース債務の返済による支出	△600	△1,835
株式の発行による収入	63,505	437
自己株式の取得による支出	△5	△129
自己株式の売却による収入	88,200	—
配当金の支払額	△41,067	△42,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,903	214,185
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	47,062	380,925
現金及び現金同等物の期首残高	1,036,068	1,008,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,083,131	1,389,181

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	食料品・生活 雑貨小売事業 (千円)	カラオケ関係 事業 (千円)	オーディオ・ ビジュアル商 品販売事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
I 売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,454,568	813,465	1,514,334	114,505	108,714	7,005,587	—	7,005,587
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	19,632	684	—	—	104,095	124,412	(124,412)	—
計	4,474,201	814,149	1,514,334	114,505	212,810	7,130,000	(124,412)	7,005,587
営業利益又は 営業損失(△)	37,341	76,719	6,394	△29,855	20,446	111,046	(44,792)	66,254

(注)1 事業の区分は、市場の類似性を考慮し、各事業の内容より区分を行っております。

2 各区分の主な事業内容と主な取扱製品・商品(役務を含む)は次のとおりであります。

セグメント区分	事業内容	取扱商品等
食料品、 生活雑貨 小売 事業	・総合100円ショップ「FLET'S」及び「百圓領事館」等の店舗運営 ・食品スーパー「F MART」等の店舗の運営 ・100円ショップ向け雑貨商品の企画・輸入・販売	食料品 生活雑貨 生鮮食料 その他
カラオケ 関係事業	・カラオケ機器及び関連商品の販売 ・業務用ゲーム機器の販売及び賃貸 ・ゲームセンターの運営	カラオケ関連機器 ゲーム機器
オーディオ ・ビジュアル 商品販売事業	・レンタル用コンパクトディスク・ビデオソフト・ その他関連商品の卸販売	コンパクトディスク ビデオソフト
スポーツ事業	・スポーツクラブ「JOYFIT」の経営 ・ホットヨガスタジオ「LAVA」の経営	スポーツ関連
その他事業	・不動産・店舗設備の賃貸 ・コインパーキング事業	不動産・駐車場関連

3 会計方針の変更

(重要な減価償却資産の減価償却方法の変更)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間から、連結子会社である(株)音通マルチメディア、(株)ジャムテック、(株)音通アミューズメント、(株)ビデオエイティは、賃貸資産(機械及び装置)の減価償却方法を従来の定率法から定額法に変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、カラオケ関係事業の営業利益が17,615千円増加しております。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	食料品・生活 雑貨小売事業 (千円)	カラオケ関係 事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
I 売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,342,036	698,954	107,858	111,782	5,260,632	—	5,260,632
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	21,175	684	—	100,672	122,532	(122,532)	—
計	4,363,211	699,638	107,858	212,455	5,383,164	(122,532)	5,260,632
営業利益又は 営業損失(△)	78,684	17,938	△8,593	32,300	120,329	(31,129)	89,199

(注) 1 事業の区分は、市場の類似性を考慮し、各事業の内容により区分を行っております。

2 各区分の主な事業内容と主な取扱製品・商品(役務を含む)は次のとおりであります。

セグメント区分	事業内容	取扱商品等
食料品、 生活雑貨 小売 事業	・総合100円ショップ「FLET'S」及び「百圓領事館」等の店舗運営 ・食品スーパー「F MART」等の店舗の運営 ・100円ショップ向け雑貨商品の企画・輸入・販売	食料品 生活雑貨 生鮮食料 その他
カラオケ 関係事業	・カラオケ機器及び関連商品の販売 ・業務用ゲーム機器の販売及び賃貸 ・ゲームセンターの運営	カラオケ関連機器 ゲーム機器
スポーツ事業	・スポーツクラブ「JOYFIT」(FC)の経営 ・ホットヨガスタジオ「LAVA」(FC)の経営	スポーツ関連
その他事業	・不動産・店舗設備の賃貸 ・コインパーキング事業	不動産・駐車場関連

3 ㈱ハブ・ア・グッドを平成20年7月4日付けで会社分割を実施し、新設会社の㈱ファイコムにスポーツ事業を承継し、平成20年7月5日付けでオーディオ・ビジュアル商品販売事業の㈱ハブ・ア・グッドを譲渡いたしました。

従いまして、当第1四半期連結累計期間において該当事業のセグメントはございません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

前第1四半期連結累計期間の全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦の割合」は100%であるため、その記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

当第1四半期連結累計期間の全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦の割合」は100%であるため、その記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

前第1四半期連結累計期間の海外売上高はないため、その記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

当第1四半期連結累計期間の海外売上高はないため、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。